



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 福

上場会社名 昭和鉄工株式会社

コード番号 5953 URL <http://www.showa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山本駿一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 山根譲治

TEL 092-651-2931

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,828	△9.3	△208	—	△196	—	△221	—
23年3月期第2四半期	5,322	33.4	26	—	28	—	△16	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △298百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △157百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△26.25	—
23年3月期第2四半期	△1.84	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	13,236	—	2,473	—	—	18.7
23年3月期	13,883	—	2,788	—	—	20.1

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,473百万円 23年3月期 2,788百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,800	△8.8	10	△88.5	20	△76.5	140	266.2	16.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	8,970,000 株	23年3月期	8,970,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	527,523 株	23年3月期	527,221 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	8,442,601 株	23年3月期2Q	8,838,847 株
----------	-------------	----------	-------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	3
(4) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(7) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況から徐々に持ち直す動きが見られるものの、原発事故に伴う電力供給問題、円高・株安の進行や欧米の金融不安がもたらす世界的な景気減速懸念などもあり、先行き不透明な状況で推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、中期経営計画「リカバリー130」の2年目として重点課題である「差別化した新製品・サービスの拡販」に努めるとともに、固定経費の徹底した削減等に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、48億2千8百万円（前年同期比9.3%減）となりました。

損益面につきましては、ほぼ予算の見込みどおりとなりましたが、前年同期に比べコストダウンや経費の削減等が寄与したものの、売上高の減少をカバーするまでには至らず、営業損失は2億8百万円（前年同期は営業利益2千6百万円）、経常損失は1億9千6百万円（前年同期は経常利益2千8百万円）、四半期純損失は2億2千1百万円（前年同期は四半期純損失1千6百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ・機器装置事業

機器装置事業につきましては、空調機器製品では原子力発電所向け特殊空調機の受注、熱源機器製品では「業務用エコキュート」の受注・売上が拡販努力により順調に推移しました。この結果、当事業の売上高は31億9千9百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

## ・素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、鋳造品は発電機向けガスタービン関連部品の売上が順調に推移しましたが、景観製品は前年同期のような補正予算の前倒し受注という特注要因がなかったこともあり、低調に推移しました。この結果、当事業の売上高は7億4千6百万円（前年同期比26.2%減）となりました。

## ・サーモデバイス事業

サーモデバイス事業につきましては、グローバル化によるフレキシブルな生産体制構築のため、韓国合弁会社への生産移管を進めるとともに、予定していた前期受注案件が順調に出荷・売上計上できました。この結果、当事業の売上高は8億8千2百万円（前年同期比20.8%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億4千7百万円減少し132億3千6百万円となりました。主な要因は、当第2四半期末は前連結会計年度末に比べ直近の売上が少ないため売上債権が3億9千2百万円減少したことなどによります。

負債については、前連結会計年度末に比べ3億3千1百万円減少し107億6千3百万円となりました。主な要因は、当第2四半期末は前連結会計年度末に比べ直近の資材調達等が少ないため仕入債務が4億2千3百万円減少したことなどによります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ3億1千5百万円減少し24億7千3百万円となりました。主な要因は、四半期純損失2億2千1百万円を計上したことによる減少と株価の下落によるその他有価証券評価差額金の減少8千万円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億1千万円減少し27億7千1百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果支出した資金は3千1百万円(前年同期は6億2千6百万円の獲得)となりました。これは主に、売上債権の減少額3億9千2百万円、減価償却費1億1千5百万円による増加と、税金等調整前四半期純損失2億8百万円、仕入債務の減少額4億2千3百万円による減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果支出した資金は4千8百万円(前年同期は2千6百万円の支出)となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出5千2百万円による減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果支出した資金は3千1百万円(前年同期は1千4百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額1千6百万円、長期借入金の返済による支出1千1百万円による減少であります。

(4) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月12日に公表いたしました予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,882	2,621
受取手形及び売掛金	3,919	3,502
完成工事未収入金	15	40
有価証券	—	150
商品及び製品	255	344
原材料	336	364
仕掛品	880	755
未成工事支出金	19	43
その他	116	75
貸倒引当金	△12	△11
流動資産合計	8,411	7,886
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,678	1,678
その他(純額)	1,583	1,547
有形固定資産合計	3,261	3,226
無形固定資産	93	90
投資その他の資産		
投資有価証券	1,515	1,446
その他	654	650
貸倒引当金	△53	△64
投資その他の資産合計	2,116	2,033
固定資産合計	5,471	5,350
資産合計	13,883	13,236
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,648	2,189
工事未払金	2	37
短期借入金	4,410	4,509
未払法人税等	26	21
その他	757	795
流動負債合計	7,845	7,552
固定負債		
長期借入金	1,161	1,050
退職給付引当金	1,555	1,588
その他	532	571
固定負債合計	3,249	3,210
負債合計	11,095	10,763

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,225
利益剰余金	318	79
自己株式	△86	△86
株主資本合計	3,098	2,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△286	△367
為替換算調整勘定	△24	△20
その他の包括利益累計額合計	△310	△387
純資産合計	2,788	2,473
負債純資産合計	13,883	13,236

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	5,322	4,828
売上原価	4,068	3,827
売上総利益	1,254	1,001
販売費及び一般管理費	1,227	1,209
営業利益又は営業損失 (△)	26	△208
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	21	22
助成金収入	4	—
その他	41	46
営業外収益合計	69	69
営業外費用		
支払利息	50	45
その他	16	12
営業外費用合計	67	57
経常利益又は経常損失 (△)	28	△196
特別損失		
投資有価証券評価損	22	—
事務所移転費用	1	—
貸倒引当金繰入額	1	11
特別損失合計	25	11
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	2	△208
法人税、住民税及び事業税	19	13
法人税等合計	19	13
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△16	△221
四半期純損失 (△)	△16	△221

四半期連結包括利益計算書  
第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△16	△221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△131	△80
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	4
その他の包括利益合計	△141	△76
四半期包括利益	△157	△298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△157	△298
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	2	△208
減価償却費	130	115
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14	10
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△22	33
受取利息及び受取配当金	△22	△23
支払利息	50	45
持分法による投資損益 (△は益)	△8	△6
投資有価証券評価損益 (△は益)	22	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,272	392
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△355	△17
仕入債務の増減額 (△は減少)	△285	△423
その他の資産・負債の増減額	△23	81
その他	6	△3
小計	755	△3
利息及び配当金の受取額	22	23
利息の支払額	△50	△43
法人税等の支払額	△31	△19
法人税等の還付額	—	11
早期割増退職金の支払額	△69	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	626	△31
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△23	△52
投資有価証券の取得による支出	△6	△0
投資有価証券の売却による収入	5	—
その他	△2	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26	△48
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	298	△301
長期借入れによる収入	100	300
長期借入金の返済による支出	△411	△11
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	0	—
配当金の支払額	—	△16
その他	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14	△31
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	585	△110
現金及び現金同等物の期首残高	2,476	2,882
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,062	2,771

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第 2 四半期連結累計期間(自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サーモデバイス事業	
売上高				
外部顧客への売上高	3,196	1,012	1,113	5,322
セグメント間の内部売上高 又は振替高	144	107	—	251
計	3,341	1,119	1,113	5,574
セグメント利益又は損失 (△)	△46	△27	99	26

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	26
四半期連結損益計算書の営業利益	26

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サーモデバイス事業	
売上高				
外部顧客への売上高	3,199	746	882	4,828
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	5	—	49
計	3,243	752	882	4,878
セグメント利益又は損失 (△)	△205	△114	111	△208

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△208
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△208

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

該当事項はありません。